

「第6回 道内空港の運営に関する検討会議」開催概要

1. 日時 平成28年9月8日（木）13:30～14:30
2. 場所 ホテルポールスター札幌 2階「コンチェルト」
3. 出席 道内空港の運営に関する検討会議 構成員
(道内13空港の関係自治体、空港ターミナルビル、駐車場事業者等)
29団体 36名(道除き36団体で構成)

4. 内容

(1) 開会挨拶

實國慎一空港戦略推進監から挨拶。

(2) 議事

ア 北海道発の提案(素案)について

- ・道から、「北海道における空港運営戦略の推進(素案)」について説明。

・質疑応答(要旨)

網走市：素案4の1中、民間委託対象空港に「最大7空港」との記載があるが、後ろ向きの表現であり削除していただきたい。

道：複数空港の一体的運営の枠組みの議論に入っている自治体の中でも、地域の議論の熟度は様々。現時点では最大7空港という表現でご理解願いたい。

網走市：素案4の2中、「地域の意見を適切に反映すること」とあるが、地域の意見を最終的に反映させられる最終のリミットは。

道：本案は年内に成案を目指しており、それまでには、もう一度、協議会(※)を通じてやりとりを行うが、協議会に参加していない自治体については本会議を通じて。なお、協議会参加自治体は各空港の関係者の代表であり、そういった部分でも地域で議論していただければと思う。

(※)北海道における空港経営改革に関する協議会

イ その他

- ・道から、「北海道における空港運営戦略の推進(素案)」について補足説明。

①今後のスケジュールについて

- ・素案を案にするのは次回の国・地方協議会。時期は11月。検討会議も開催し、その内容を説明するが、その場で、及び持ち帰り後日意見をいただく予定。また、前後して各空港利用促進協議会等にもご意見をいただく。
- ・本日の議事内容についても、後日、書面により意見提出を求める。
- ・最終的には、12月道議会終了後に道が内容を一本化し、国に提案する。
- ・29年度、道の提案、各空港のデュエリジェンスを踏まえて基本スキーム案及びインフォメーション・パッケージをまとめ、マーケットサウンディングを実施。その後、実施方針、募集要項の公表と進んでいく。
- ・その際、空ビル会社が応募する場合は自治体出資は引き揚げ。応募しない空ビル会社の株式は民間移行時に整理。

②素案の内容について

- ・「4. 道内空港に適用する民間委託スキームの基本的枠組み」は制度設計についての項目であり、大要以下について趣旨説明。

複数空港の入札手続の一体性の確保、地域要望等とSPCの事業範囲との整合、航空ネットワークの強化に係る提案、選定審査への関与、SPCの経営判断の柔軟性の確保、複数空港の運営状態を一括してモニタリングできる仕組みづくり、民間委託しない空港の管理者の管理責任の不変、空港整備に係る国の役割

- ・「5. 一体的運営のメリットとさらなる発展に向けた取組」では、各項目の具体例等について説明。
- ・「4」「5」については、量的にかなり増加する見通しである旨、説明。

以上